



いつまでも安心して住み続けられる片上のまちづくりをめざして

岡山県備前市片上地区支えあい実行委員会
会長 宇治橋 昭彦



1 はじめに 片上地区の概要

岡山県備前市片上地区は瀬戸内海に面し、東は兵庫県赤穂市に隣接するまちです。備前市といえば備前焼と耐火物。片上地区は市庁舎のある面積約10万㎡、約1,300世帯、人口約3,800人のまちです。これまでも川の氾濫、高潮等による被害に悩まされてきました。

2 取組のきっかけ

取組は2011年春、「厚生労働省の10割の補助金事業がありますが片上地区で何か取り組んでみませんか」との市職員の一斉から始まりました。さっそく「知恵出し会」を開き検討しました。結果は、まず片上地区の住民のニーズは何かを知ることが大切だと結論に達しました、そのためにアンケート調査を行うことになりましたが、アンケート調査をするなら専門家を探しました。たまたま愛媛地域福祉研究会の、社会保障、社会福祉、経済、社会調査の熱心な先生方にお会いする機会を得ました。アンケートは先生方のご指導の下に地区診断方式で全世帯を対象に実施し回答率は約80%でした。アンケートの結果は町内会への期待が大きく高齢者、障がい者の要援護者名簿の作成を望む声が8割以上でした。再び要援護者名簿作成のためのアンケートを実施し265名の名簿を作成することができました。

その後この名簿は「声かけ名簿」と呼

ばれ、避難訓練などで活用されています。

3 取組の経過と特徴

私たちの取組は子どもから高齢者、障がいをもった方も含め、片上のまちで安心していつまでも住み続けられることのできるまちづくりを目的としています。そのため「声かけ名簿」を活用した緊急事態・災害に備えての取組と訓練を実施しています。取組は片上地区自治会連絡協議会（16町内会）を中心に、片上公民館、備前市社会福祉協議会、NPO東備、NPOリンクス、NPOBK、備前市まちづくり研究会、備前市地域包括支援センター、東備消防組合が集まって実行委員会方式で行っています。

実行委員会は月1回、事務局会議を設けて運営しています。

これまでの主な取組は、次のとおりです。

- ①住民要求把握、要援護者名簿作成のアンケート
- ②ハザードマップ15町内会で作成



かたかみマップ



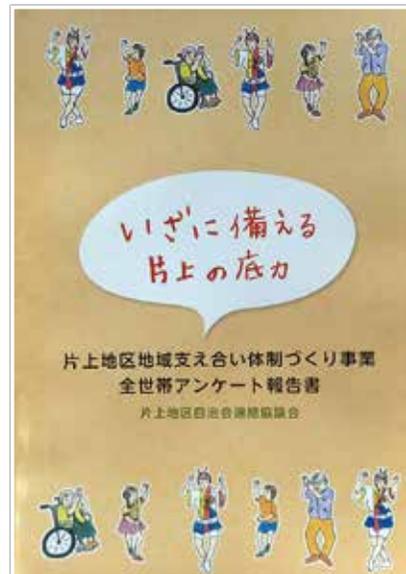
支えあいフォーラム風景



避難所開設・運営訓練風景

4 今後の課題

2016年度は、各町内会で加除はしているものの新しい「声かけ名簿」の作成を予定しています。何よりも日常的なつながりを深くし、片上に住み続けられるために福祉と防災を軸にまちづくりを進めて行きたいと考えています。そのためにはより多くの住民の参加と様々な団体との協同、そして行政がしっかりサポートしてくれる仕組みを作ることが大切ではないかと考えています。



住民アンケート報告集

- ③片上地区一斉避難訓練
(住民参加率約2割)
- ④避難所開設・運営訓練
- ⑤講演会4回
- ⑥支えあいフォーラム
(講演とシンポジウム)4回
- ⑦高校での認知症サポーター養成講座への協力
- ⑧小学校での障がい理解のための学習会
- ⑨認定こども園、小学校、高校の
合同避難訓練への協力
- ⑩事業所での防災意識調査
- ⑪自主防災組織の結成
- ⑫東日本大震災視察ツアー
- ⑬第18回まちづくり大賞消防長官表彰
- ⑭支えあいニュースの発行(12号)

